

バッテリーを軸とした総合力で 節目の年に20年ぶりの聖地へ



▲1年生キャッチャーの荻野を引っ張る意味でもエース・三田へかかる期待は大きい



取材・文=田辺由紀子

岩倉

東京都 ▶ 台東区
私立 いわくら



▲春の早実戦では本塁打を放った涌井を筆頭に打線は左打者がずらりと並ぶ

- 正式名称/岩倉高等学校
- 所在地/〒110-0005 東京都台東区上野7-8-8
- 学校長/浅井千英
- 監督/豊田浩之
- 野球部創部/1960年
- 部長/橋本武久
- 学校創立/1897年
- 部員数/55人

予想オーダー		過去5年の夏の都大会成績	
[遊]△山田 航大(3年)	12夏 ▼ 一〇〇〇〇〇●	1 - 5 成立学園	(ベスト4)
[中]△山崎 弘平(2年)	13夏 ▼ 四一〇●	2 - 3 駿台学園	
[三]△涌井 和人(3年)	14夏 ▼ 〇〇〇〇●	6 - 8 東亜学園	
[一]△森本 克哉(3年)	15夏 ▼ 〇〇●	2 - 3 明大中野	
[捕]△荻野 魁也(1年)	16夏 ▼ 四一〇●	8 ⑩ 9 日大豊山	
[右]△加藤 広大(3年)			
[左]△鈴木 大誠(3年)			
[投]三田 知樹(3年)			
倉光 改(3年)			

新チーム結成以降の成績			
16秋	○ 8 ⑧ 1	練馬	(ブロック1回戦)
	○ 6 - 3	福生	(ブロック決勝)
	● 2 - 3	国士館	(1回戦)
17春	○ 11 ⑦ 3	上水	(1回戦)
	○ 10 ⑦ 3	調布南	(2回戦)
	● 4 - 9	早実	(3回戦)

丸数字はコールドまたは延長回数

春季大会は3回戦で早実に敗れ、今大会のシード権を逃したが、豊田浩之監督いわく「故障者もいて、やりくりの春だった」というチーム状況から、「新入生も含めてチームを作り直した」と練習や練習試合を通じてポジティブなコンパイトや選手起用に試行錯誤し、夏に向けたチーム作りを行ってきた。

大きなカギになるのは、1年生ながら正捕手の重責を担うことになる荻野魁也だろう。

「キャッチング、スローイング、ブロックキングという技術もあり、練習試合で数選手を起用する中でもっともしっくりいった。バッティングもいい」と豊田監督は期待を寄せる。もちろん、初めての夏ということで疲労などの懸念はあるものの、攻守両面でのカギになり得る選手。練習試合では、エースの三田知樹(3年)が引っ張る形で、リード面の経験を積んでいる。

そのエース・三田は、164センチと小柄ながら多彩な変化球と向かっていく投球で打者を打ち取るスタイルだが、春は制球の課題を残した。「それほど緻密なコントロールがないということもあります」「自分が投げて抑えないとチームが勝てない」という思いが強過ぎることで、変化球も低めを狙ってフォアボールが増える。カウントを悪くしてストライクを取りにいったところを打たれる」と、指揮官は三田の投球内容を振り返った。しかし、エースもその課題は理解している。制球の精度を高めていくと同時に、1年生キャッチャーの荻野とのバッテリーで練習試合を重ねながら、課題克服を目指してきた。

当然、初戦からエースに託す戦いになるが、大会を勝ち上がっていくことを考えると、2番手以降のピッチャーの起用もあるだろう。その場合は加藤広大(3年)、山崎弘平(2年)の外野手2人が投手として起用されることが濃厚だ。ともに左腕で、加藤はスライダートとチェンジアップの変化に特徴があり、山崎もまた左投手特有の打者が打ちづらいボールを投げる。右の三田との兼ね合いで、アクセントとなる左投手をどう起用してい

くかが勝ち抜いていくための注目ポイントになってくる。

チーム最大の特徴は、ずらりと並ぶ左打者の多さでもあるが、「だからといって脚力がある左打者というわけでもなく、長打力がある左打者になる打者がいるわけでもない」と豊田監督はチームを冷静に分析する。

5月末の段階では打線に関して「軸がないことで、練習試合のオーダーも日替わりで、攻撃の仕方が定まってこない」と物足りなさも口にした。その中でどうやって得点をつかんでいくかを試行錯誤しながら、夏に向けた残り1カ月で完成形を目指してきた。

今年、創立120年を迎える岩倉。さらに、日々練習を行うグラウンドの隣には新しい選手寮の建設が進み、8月には完成予定だ。「勝たなければいけない年」(豊田監督)という状況を、選手も痛いほど感じている。目標は20年ぶり2度目の甲子園出場。その目標に向けて、大会前の最後のひと伸びで混戦を勝ち上